

## 九谷焼技術研修所 中期経営目標取組状況（平成28年度）

### 中期経営目標（実施期間 H27～H29）

- ① 本科の入学志願者数を定員の1.5倍に高めます。
- ② 研究科の定員充足率を70%に高めます。
- ③ 実習科の定員充足率を70%に高めます。
- ④ 研究科では高度な技術力と商品開発力を修得できる魅力あるカリキュラムにします。

### 1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値 (H25)	実績値 (H28)	目標値 (H29)
① 本科入学志願倍率	0.93倍	1.27倍	1.5倍
② 研究科定員充足率	40%	53.3%	70%
③ 実習科定員充足率	60%	93.3%	70%
④ 本科から研究科への進学率	43%	45%	70%

### 2 平成28年度における主な取組内容

#### (1) 求められる人材の育成について

- ・九谷焼産業に従事しようとする研修生に対し、陶芸に関する技術、技能を修得させるだけでなく、九谷焼の素材に対する理解を深めるため、工業試験場（九谷焼技術センター）の協力を得て、釉薬の科学的素養及び鉛の溶出基準についての講義や、無鉛絵具での表現の可能性を見る実習を取り入れました。
- ・県立美術館、九谷焼美術館、大樋美術館における所蔵作品の熟覧において研修生が直接手にふれる機会を取り入れ、作品解説と共に、優れた名品を観る機会を設けました。
- ・実習科の加飾コースでは、様々な上絵技法を広く浅く修得する方法を見直し、一つの技法の時間数を増やし、より深い技法を修得できるカリキュラム編成にしたことが、研修生の増加に繋がりました。

#### (2) 研修生の確保について

- ・研修所の知名度の向上と入学希望者の増加に繋げるため、オープンキャンパスを日曜日に開催するとともに、茶碗まつりや陶芸村まつりに併せた施設開放等を行いました。
  - 九谷茶碗まつり（5月） 研修所施設を一般開放
  - オープンキャンパス（8月） 個人進学相談、絵付やロクロ体験等
  - 陶芸村まつり（11月） 施設開放と研修生及び卒業生の作品展示・販売
- ・企画展や開放講座を開催し、広く九谷焼や研修所のPRに努めました。
  - ◎身延町なかとみ現代工芸美術館（山梨県）での作品展示  
「加賀百万石・武家文化が生んだ工芸美術の華」九谷焼展（H28年9月30日～11月13日）
  - いしかわ動物園での九谷焼干支作品展

しいのき迎賓館・石川県大阪事務所での作品展

夏期講座（テーマ：補助金ってどれを選べばいいの？）

開放講座（九谷焼上絵付講座）

- ・県内の普通科コース、美術コース・美術部のある高校や短大・大学などを対象に、上絵付け体験を通して九谷焼及び研修所のPRに結びつける「上絵付け出張教室」を行いました。また、県外の短大・大学で、九谷焼の歴史・技法などについて、担当教官と話す機会を設けていただき、九谷焼への意識向上・PRに努めました。
- ・海外（台湾明道中学の研修旅行）との交流機会や県政バス等の団体や個別の入学希望者の受け入れ等を通じ、九谷焼及び研修所のPRに努め、ひいては研修所への入学志願者の増加に結びつくよう取り組みました。
- ・入学生の多くはホームページを見て応募していることから、公募展での受賞者の対談など、卒業生の活動状況をわかりやすく掲載し、アクセス数の把握にも努め、より入学希望者に魅力を感じてもらえるように努めました。また、研修所の出来事を所長の目線から紹介する、「所長の独り言」の掲載も継続し、研修所の広報に努めました。
- ・美術系の大学・短大・専門学校に特化した進学支援事業を展開する団体が主催した、進学相談会に参加し、研修所の知名度アップと入学志願者の増加に繋がるよう努めました。
- ・いしかわ動物園「トキ里山館」一般公開式典での記念品として、研修所卒業生が、トキをあしらった九谷焼きの皿を制作し、新聞紙上で広く紹介していただきました。

### (3) 商品開発に向けた支援について

- ・デザイン支援事業により、商品デザイン技術の向上、開発商品の販売開拓を支援するとともに、産地の売り手（問屋、小売店）とのマッチングにより取引拡大を後押ししました。また、（公財）県デザインセンターが行う、マーケットイン商品開発事業への参加や、イベント企画展への参加、アンテナショップへの展示販売等で売れる商品づくりを支援しました。

### (4) 就職支援について

- ・九谷焼業界で就職希望の研修生については、研修生自ら企業訪問させ、積極的に自己アピールをするように指導し、担任も就職先に出向いて業界との情報交換をはかり、研修生の就職支援に努め、ほぼ100%の就職率となりました。

## 3 平成29年度における取組内容の見直し等

- ・ホームページについて、卒業生の活躍や活動情報をいままで以上に掲載するとともに、絵付の解説、講師の実習風景などを掲載するなど、内容の見直しや充実に努めます。
- ・県内の高校、短大、大学からの入学希望者を増やすため、近在の高校の就職指導担当

教諭との関係を構築するなど働きかけを強めていきます。

- 研修生や九谷焼従事者の幅広い知識向上に資するため、デザイン支援事業においては、技術力やデザイン力向上に向けた支援のこれまで以上の充実に努め、夏期講座では、九谷焼業界からの要望を取り入れた講座を開催します。
- 引き続き、オープンキャンパスや茶碗まつり・陶芸村まつり等を通じた施設開放のほか、企画展の開催等を積極的に開催し、定員充足率の向上に努めます。

参考資料

1 施設の利用状況

(1) 利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

※各年度4月学生数には休学者、復学者含む。

【本科】

指 標	単位	H25	H26	H27	H28	備考
定員充足率	%	93.3	80.0	86.7	86.7	
総定員（各学年15人）	人	30	30	30	30	
各年度4月学生数	人	28	24	26	26	
1年	人	13	11	15	13	
2年	人	15	13	11	13	
志願倍率（翌年度入学者入試）	倍	0.93	1.0	1.0	1.27	
志願者数	人	14	15	15	19	
合格者数	人	14	15	13	14	
就業率（進学者を除く）	%	91.1	85.7	100.0	100.0	
卒業者数	人	14	11	10	11	
（うち進学者数）	人	(3)	(4)	(8)	(5)	
関連産業就業者数	人	10	6	2	4	
（うち県内）	人	(9)	(3)	(2)	(4)	

【研究科】

指 標	単位	H25	H26	H27	H28	備考
定員充足率	%	40.0	26.7	33.3	53.3	
総定員（各学年15人）	人	15	15	15	15	
各年度4月学生数	人	6	4	5	8	
志願倍率（翌年度入学者入試）	倍	0.27	0.33	0.53	0.53	
志願者数	人	4	5	8	8	
合格者数	人	4	5	8	7	
就業率（進学者を除く）	%	100.0	75.0	66.7	100.0	
卒業者数	人	6	4	5	8	
関連産業就業者数	人	4	3	2	8	
（うち県内）	人	(3)	(1)	(2)	(8)	

【実習科】

指標	単位	H25	H26	H27	H28	備考
定員充足率	%	60.0	56.7	56.7	93.3	
総定員(各コース15名)	人	30	30	30	30	
各年度4月学生数	人	18	17	17	28	
志願倍率(翌年度入学者入試)	倍	0.57	0.57	1.00	0.87	
志願者数	人	17	17	30	26	
合格者数	人	16	17	28	26	
卒業者数	人	14	13	16	27	

【デザイン支援事業】

項目	単位	H25	H26	H27	H28	備考
参加人数	人	13	13	17	16	
デザイン検討会	回	6	6	6	6	
商品開発数	アイテム	12	13	17	15	

2 収支の状況

(単位：千円)

		H25	H26	H27	H28
歳出	職員費	55,077	63,126	59,289	59,421
	運営費	10,806	11,148	10,975	10,982
	研修事業費	19,823	19,072	19,035	19,175
	開放講座開催費	701	721	757	714
	体験見学会開催事業費	700	700	0	0
	研修所整備事業費	200	200	200	2,200
	研修所整備費	0	0	0	0
	計	87,307	94,967	90,256	92,492
歳入	授業料	12,427	10,087	11,614	13,407
	入学検定手数料	361	397	480	543
	入学手数料	1,698	2,380	2,273	2,262
	開放講座受講料	105	125	159	117
	一般財源	72,716	81,978	75,730	76,163
	計	87,307	94,967	90,256	92,492

### 3 利用者 1 人あたりの一般財源投入額

	H25	H26	H27	H28
一般財源投入額（千円）①	72,716	81,978	75,730	76,163
職員費を除いた額（千円）①'	17,639	18,852	16,441	16,742
利用者数（人）②	52	45	48	62
利用者 1 人あたりの一般財源投入額（円） ①÷②	1,398,384	1,821,733	1,577,708	1,228,435
職員費を除いた額（円） ①' ÷②	339,211	418,933	342,520 円	270,032